

マーケティング活動高度化のための動的販売データ活用

佐藤忠彦

筑波大学 大学院ビジネス科学研究科 准教授

Abstract

スーパーマーケット、コンビニエンスストアなどの小売業では、POS データやID 付き POS データと呼ばれる販売データが日々蓄積されてきている。それら販売データには、マーケティング活動を高度化するために有効な情報が数多く含まれている。実際に、それら販売データからマーケティング上有効な知識を抽出することが、マーケティング実務における重要な課題となっている。本発表では、それらマーケティング環境を取り巻く状況の整理と、動的観点からの販売データ（購買データ）の解析事例を紹介する予定である。

